

文芸部 部誌が来年の全国総文に出品決定！

令和3年11月22日

本校文芸部の部誌が、本年度の県総合文化祭部誌部門で最優秀賞に輝きました。この結果、本校の部誌「鵬雛図南74th」が、来年度の全国高校総合文化祭に県代表で出品されることに決定しました。

以下に、この部誌の「はじめに」を引用します。総ページ数は320ページ。内容も実に多彩です。

はじめに

「鵬雛図南」とは、「鵬の雛が南を目指す」という意味を持ちます。鵬とは、海上を三千里の高さに昇り、南の海へ飛んでいくという、想像上の鳥です。旧制神戸一中時代から、我が高校の生徒はしばしば鵬の雛、つまり鵬雛に例えられてきました。

この「鵬雛図南74th」はそれぞれが生み出した作品を惑星に例えました。

- | | |
|------------|---------------------------|
| 第一章「水 星」 | テーマの設定をしない自由作品 |
| 第二章「金 星」 | 創作都市『梧桐市』で起こる「日常」の短編小説集 |
| 第三章「地 球」 | 同じく梧桐市で起こったある物語を辿る連作小説集 |
| 第四章「火 星」 | 詩集。語ることは戦うことと似ている |
| 第五章「木星・土星」 | 俳句・短歌集。短い言葉で思いを綴る |
| 第六章「天 王 星」 | 村上春樹の「品川猿」をお題にした座談会の記録 |
| 第七章「海 王 星」 | 「ホラー」をテーマとした短編集「Eldridge」 |

それでは、神戸高校文芸部の紡ぐ宇宙旅行をぜひお楽しみください。

